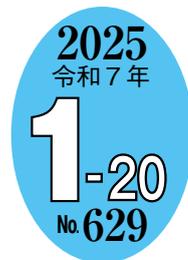




地域を見つめる経済情報誌

# 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

## 月例調査レポート



千曲市  
戸倉上山田温泉

忘年会・新年会で賑わう温泉街を見下ろす城山にかかる「戸倉上山田」 という大きな赤い字の看板。この看板の初代は昭和11年とのこと。昭和34年に約5m四方の鉄骨組みのネオン管にリニューアルされ、10年ほど前からはLED化されているそうです。ところで昨年10月、同温泉街の「スナック文化」と「ネオン看板」という昔ながらの「地域資源」を活かした「NEOネオン」プロジェクトが若い世代のファンづくりや地域の文化の維持に大きく貢献しているとして、千曲市が「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選出されました。

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート「2025年の経営見通し」① ..... 6
- 生活者アンケート「2025年の暮らし向き」 ..... 8
- 北信濃 明治時代の風景 (34) 豊野 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



# 概況 全産業

## 生産は2カ月ぶりの低下 前年同月比は3カ月連続の低下

### ◇2024年10月の長野県鉱工業指数

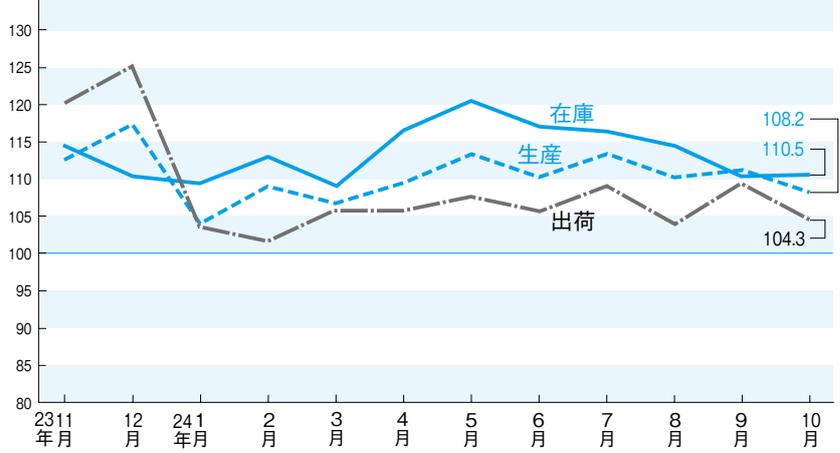
(速報：季節調整済指数)

生産は108.2(前月比▲2.7%)で2カ月ぶりの低下、出荷は104.3(同▲4.7%)で2カ月ぶりの低下、在庫は110.5(同+0.2%)で5カ月ぶりの上昇となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は113.6(前年同月比▲3.0%)で3カ月連続の低下、出荷は107.2(同▲4.9%)で3カ月連続の低下、在庫は111.1(同▲8.8%)で11カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…情報通信機械、食料品、その他など8業種  
低下…はん用・生産用・業務用機械、化学、輸送機械など9業種
- [出荷] 上昇…プラスチック製品、窯業・土石製品、その他など9業種  
低下…はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、情報通信機械など8業種
- [在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、その他など9業種  
低下…化学、電気機械、プラスチック製品など7業種

## 月例調査

### 全産業の「売上高」は増加

前回調査 2024年10月

### ◇12月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年同月比は、増加した企業が33.0%、不変が42.1%、

減少が24.9%となりました。10月調査時に比べると増加が4.4%増、不変が1.7%減、減少が2.7%減となり全体として増加の状況です。

### ●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合(%)

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) 増加 不変 減少 改善 不変 悪化

業種	前回	今回	変化	改善/悪化	調査対象数	回収率	30人未満	30人以上
全産業	28.6 →	33.0 ↑	4.4%	改善	192社	87.3%	74.0%	26.0%
製造業	35.3 →	33.0 ↓	-2.3%	悪化	197社	89.6%	71.6%	28.4%
建設業	40.0 ↑	42.1 ↑	2.1%	改善	68社	86.8%	61.8%	38.2%
卸小売業	40.0 →	40.0 →	0.0%	不変	69社	98.6%	84.1%	15.9%
サービス業	25.0 ↑	24.9 ↓	-0.1%	悪化	40社	87.0%	77.5%	22.5%
輸送業	60.0 ↑	60.0 ↑	0.0%	不変	5社	83.3%	80.0%	20.0%
外食業	33.3 →	33.3 →	0.0%	不変	6社	66.7%	33.3%	66.7%
その他	55.6 →	55.6 →	0.0%	不変	9社	90.0%	44.4%	55.6%

# 製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高」一般機械・電気機械・精密機械が増加し、全体も増加

製造業の生産高前年同月比は、増加した企業が35.3%、不変が42.6%、減少が22.1%となりました。10月調査時に比べると増加が0.9ポイント増、不変が2.0ポイント増、減少が2.9ポイント減となり全体として増加の状況です。

### ●生産高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

製造業	前回	34.4	40.6	25.0
	今回	増加 35.3	不変 42.6	減少 22.1
食料品		33.3	40.0	26.7
金属加工		21.4	35.7	42.9
一般機械		11.1	66.7	22.2
電気機械		66.7	16.7	16.7
自動車部品		-0.0	60.0	40.0
精密機械		60.0	40.0	0.0

【業種別】 増加…一般機械・電気機械・精密機械

減少…食料品・金属加工・自動車部品

【機械稼働】 上昇企業の割合 (20.3%) → 19.4%

低下企業の割合 (20.3%) → 14.9%

機械稼働状況(前回比) 上昇

機械稼働率 (81.2%) → 78.4%

【受注状況】 増加企業の割合 (24.2%) → 20.9%

減少企業の割合 (12.9%) → 10.4%

受注量(前回比) 横ばい

受注残高(2.3ヵ月) → 2.2ヵ月

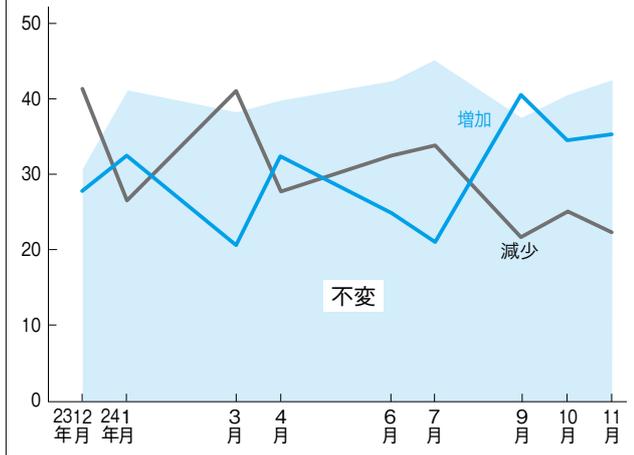
【受注基調】 上昇企業の割合 (25.0%) → 22.7%

下降企業の割合 (17.2%) → 13.6%

受注基調(前回比) 横ばい

### ●生産高前年同月比「増加・不変・減少」割合の推移

(%/資料:当金庫)



### 企業からのコメント

☆★業界としてはやや売上減少状況。当社は昨年7月から値上げに踏み切り、10月でほぼ完了した。

(印版・紙器)

☆業界では1年ほど前から発酵バレープロジェクトを通じて長野県の発酵食(酒・ワイン・味噌・漬物等)のPR活動をしており、期待している。

☆★商品価格を値上げしたが、販売面で売上が変わらないものと大きく落ち込むものがあり、その差が大きいと感じている。

★原材料が高騰しているため、手当てするのにとっても苦勞している。

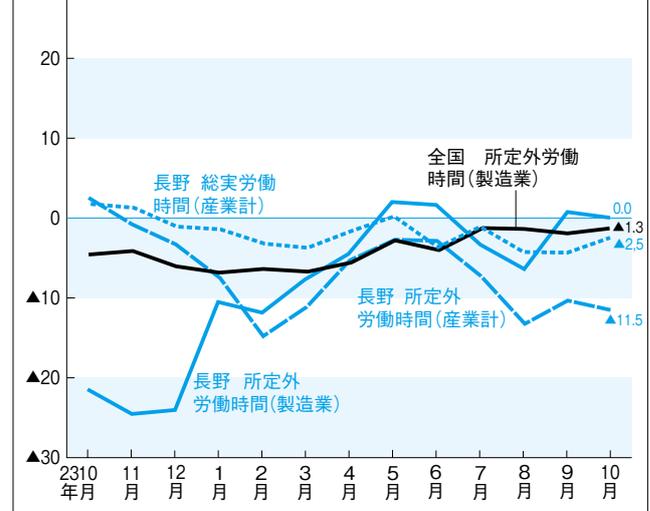
(以上、食料品)

☆受注は安定しており、中期的に販売は好調。今後、新アメリカ大統領が就任しても大きな変動はないと予想している。

(医療機器)

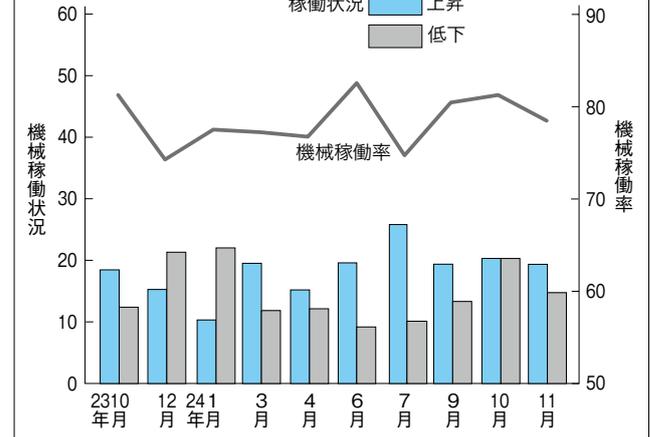
### ●長野県の労働時間の動き(前年同月比)

規模30人以上(€/資料:長野県・厚生労働省)



### ●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移

(%/資料:当金庫)



# 建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

## 「施工高」土木工事・各種設備が増加し、全体も増加

### 概況

建設業の施工高前年同月比は、増加した企業が30.4%、不変が45.0%、減少が24.6%となりました。10月調査時に比べると増加が8.3ポイント増、不変が2.0ポイント減、減少が6.3ポイント減となり全体として増加の状況です。

#### ●施工高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

建設業	前回	22.1	47.0	30.9
	今回	増加 30.4	不変 45.0	減少 24.6
総合建設業		10.0	80.0	10.0
土木工事業		46.7	33.3	20.0
建築業		25.0	50.0	25.0
各種設備業		27.3	45.4	27.3

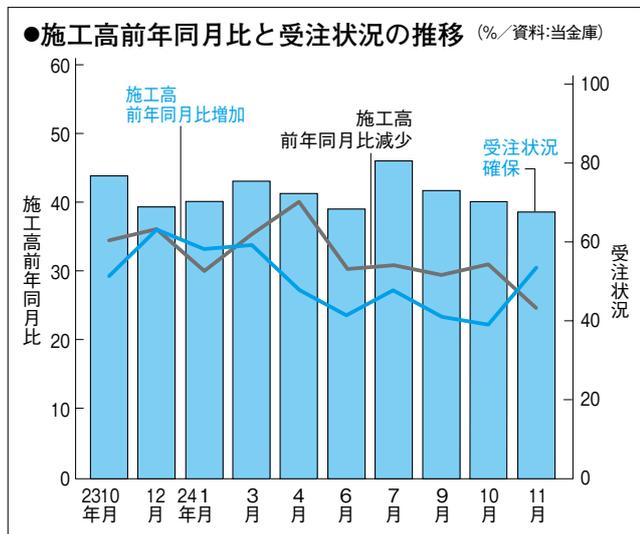
【業種別】 増加…土木工事・各種設備

横ばい…総合建設・建築

【受注状況】 「多い・適正」企業の割合(70.1%) → 67.6%

「少ない」企業の割合(29.9%) → 32.4%

受注高月商倍率(3.2カ月) → 3.45カ月



### 企業からのコメント

☆★2025年、建築基準法、省エネ法改正で中小企業にとっては厳しい時代が来るのではと危惧している。お客様にとっては良い家が建つ分、予算が上がってくるのではと思う。(一般建築)

☆★期初より想定していたことであるが、大型案件は2025年後半以降となっており、現行は中小案件の掘り起こしと、新規得意先へのワークを実施中。(内装仕上)

### 4～11月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～11月の発注合計は、1,934.2億円(前年同期比+15.4%)となりました。前年比プラスは「県」の531.7億円(同+9.1%)、「市町村」の589.6億円(同+10.6%)、「その他」の590.6億円(同+57.2%)、マイナスは「国」の218.1億円(同▲20.7%)でした。

北信地区市町村の発注合計は179.1億円(同▲1.4%)で、うち長野市は83.5億円(同+1.6%)でした。

#### ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2024年11月/2024年4月～11月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2024年11月	前年同月比	2024年4月～11月	前年同期比
長野県	国	612	▲83.0%	21,813	▲20.7%
	県	6,873	+125.0%	53,170	+9.1%
	市町村	4,965	▲22.2%	58,961	+10.6%
	その他	247	▲57.0%	59,059	+57.2%
	合計	12,698	▲6.7%	193,418	+15.4%
北信地区	市町村	1,740	+104.1%	17,913	▲1.4%
	(内長野市)	679	+167.8%	8,349	+1.6%

### 4～11月の新設住宅着工戸数

長野県の4～11月の新設住宅着工戸数は7,669戸(前年同期比▲0.5%)でした。持家が4,254戸(同▲0.6%)、貸家が2,157戸(同▲1.3%)、分譲が1,202戸(同+2.6%)、給与が56戸(同▲16.4%)です。

北信地区の4～11月の新設住宅着工戸数は1,803戸(同▲15.4%)でした。持家が1,076戸(同▲5.9%)、貸家が493戸(同▲23.1%)、分譲が231戸(同▲31.9%)、給与が3戸(同▲50.0%)です。

#### ●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数

(2024年11月/2024年4月～11月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
長野県	11月	552戸	226戸	113戸	1戸	892戸
	前年同月比	+19.2%	▲25.9%	▲33.5%	▲80.0%	▲5.4%
	4～11月	4,254戸	2,157戸	1,202戸	56戸	7,669戸
	前年同期比	▲0.6%	▲1.3%	+2.6%	▲16.4%	▲0.5%
北信地区	11月	150戸	23戸	38戸	1戸	212戸
	(内長野市)	106戸	23戸	37戸	1戸	167戸
	前年同月比	+42.9%	▲62.9%	▲30.9%	▲50.0%	▲5.4%
	(内長野市)	+125.5%	▲60.3%	+19.4%	±0.0%	+21.9%
	4～11月	1,076戸	493戸	231戸	3戸	1,803戸
前年同期比	▲5.9%	▲23.1%	▲31.9%	▲50.0%	▲15.4%	

## 卸小売業

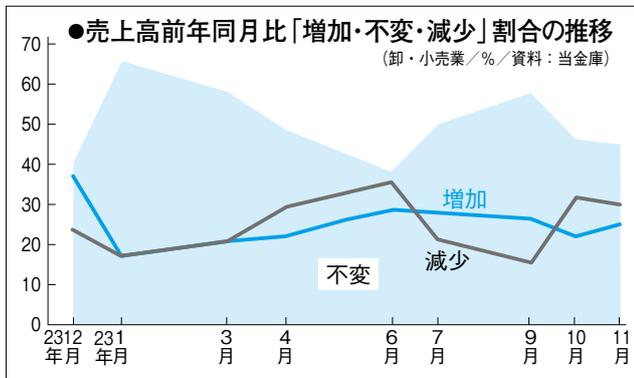
卸売業、小売業

### 「売上高」卸売が増加、小売は横ばい

卸小売業の売上高前年同月比は、増加した企業が25.0%、不変が45.0%、減少が30.0%となりました。10月調査時に比べ増加が3.0ポイント増、不変が1.3ポイント減、減少が1.7ポイント減となり全体としては増加の状況です。

#### ●売上高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

卸小売業	前回	22.0	46.3	31.7
	今回	増加 25.0	不変 45.0	減少 30.0
卸売業		13.3	53.4	33.3
小売業		32.0	40.0	28.0



【業種別】 増加…卸売業 横ばい…小売業

11月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……111.8(前月比+0.4)

(前年同月比+3.2%)(39カ月連続プラス)

上昇…「光熱・水道」「食料」「被服および履物」

「保健医療」「住居」「交通・通信」

下落…「家具・家事用品」「教養娯楽」「諸雑費」

◇生鮮食品を除く総合指数…111.1(前月比+0.4)

(前年同月比+2.9%)(40カ月連続プラス)

#### 企業からのコメント

★物価の高騰に伴い、買い控えが目立つようになってきた。(スポーツ用品小売)

☆物価高騰等の影響もあり、価格の高い新車より中古車市場の方が活発であり、中古車自体が不足している印象を受ける。(自動車小売)

☆★安価なジェネリック医薬品の普及により売上高は伸びないが、利益率に大きな変動はない。(薬局)

☆自社ネット通販に対して、スマホを使った高齢者からの注文が増えて来ている。(衣料品小売)

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高」サービスが増加、輸送は横ばい、外食は減少

サービス業 売上高前年同月比は、増加した企業が10.0ポイント増の60.0%、不変が15.0ポイント増の40.0%、減少が25.0ポイント減の0%で、全体として増加の状況です。

輸送業 売上高前年同月比は、増加した企業が横ばいの33.3%、不変が横ばいの33.3%、減少が横ばいの33.3%で、全体として横ばいの状況です。タクシー、運輸とも横ばいです。

外食業 売上高前年同月比は、増加した企業が横ばいの55.6%、不変が33.3ポイント減の11.1%、減少が33.3ポイント増の33.3%で、全体として減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は前月比3.3%増加、前年同月比でも8.6%増加しています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は14.3ポイント増加の42.9%、「引合いやや増加」は14.3%減少の0%でした。

#### 企業からのコメント

☆観光シーズン利用客に加えて地元の企業様に多くご利用いただき、売上は増加した。(旅館)

☆★12月から入浴料金の値上げを予定している。

(日帰り温泉)

☆ハウスメーカーから土地の問い合わせは多い。今後も需要はあるため土地の価格は上昇傾向にある。

(不動産)

#### ●売上高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

サービス業	前回	50.0	25.0	25.0
	今回	増加 60.0	不変 40.0	減少 0.0
輸送業	前回	33.3	33.4	33.3
	今回	33.3	33.4	33.3
うちタクシー業		0.0	100.0	
うち運輸業		40.0	40.0	20.0
外食業	前回	55.6	44.4	0.0
	今回	55.6	11.1	33.3

業況判断D.I.

2024年の業況 ▲6.6 [良くなった]22.4% [悪くなった]29.0%

2025年の業況見通し ▲6.6 [良くなる]18.1% [悪くなる]24.7%

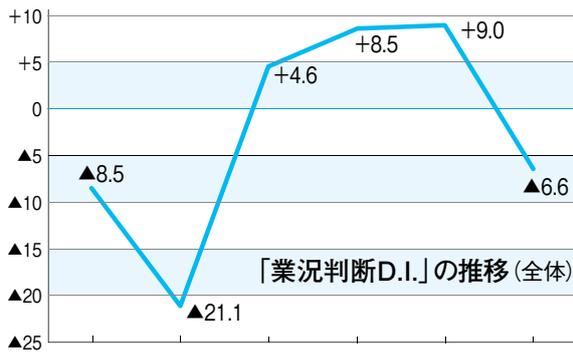
アンケート  
2025年の経営見通し ①  
2024年12月調査

2024年の業況

全産業で前年に比べ悪化

「2024年の業況は、2023年に比べてどうだったか」を聞きました。

全産業では、「良くなった」と「やや良くなった」を合わせた[良くなった]と答えた企業(22.4%)から、「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた[悪くなった]と答えた企業(29.0%)を引いた業況判断D.I.は▲6.6となり、2023年(+9.0%)に比べ15.6%悪化となりました。



	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
良くなった	25.2%	20.3%	35.3%	33.8%	34.1%	22.4%
悪くなった	33.7%	41.4%	30.7%	25.3%	25.1%	29.0%

従業員規模で見ると、30人未満の業況判断D.I.は▲7.3に対して、30人以上は▲5.2となり、30人未満が2.1%下回りました。

◇4業種 (2023年比)

**製造業** 業況判断D.I.は、2023年実績(▲1.6)に比べ▲11.7%悪化の▲13.3となりました。

**建設業** 業況判断D.I.は、2023年実績(+8.8)に比べ21.9%悪化の▲13.1となりました。

**卸小売業** 業況判断D.I.は、2023年実績(±0)に比べ5.0%悪化の▲5.0となりました。

**サービス業** 業況判断D.I.は、2023年実績(+37.8)に比べ19.7%悪化の+18.1となりました。

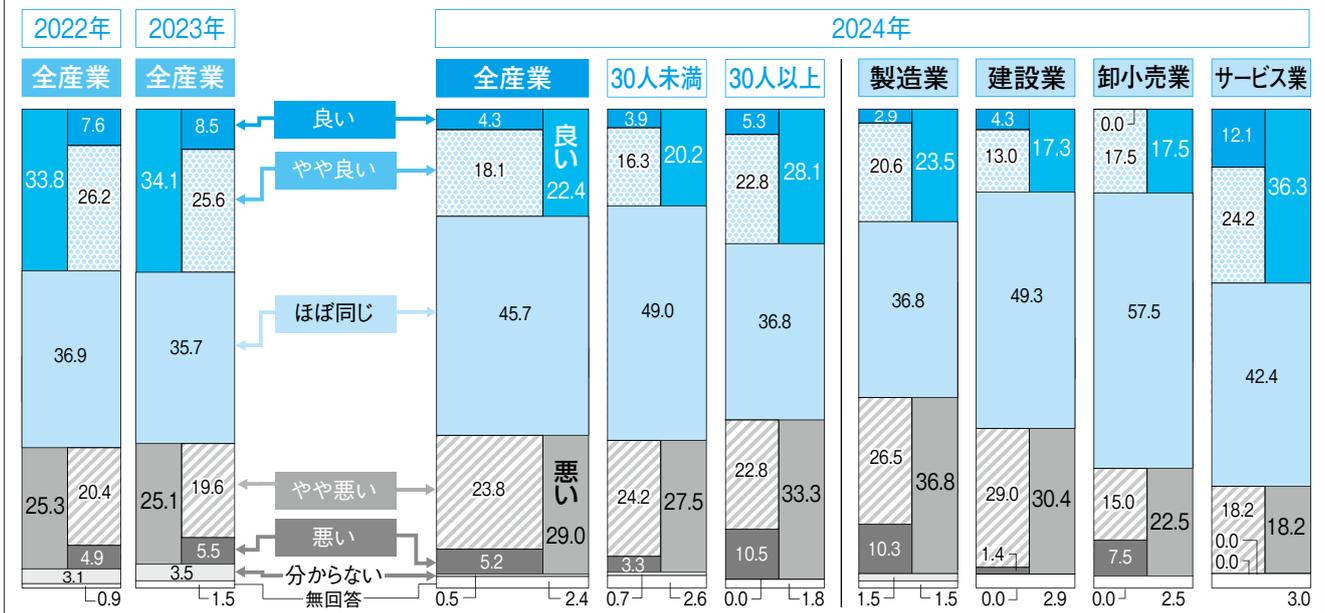
2025年の業況見通し

全産業で悪化見通し

「2025年の業況見通しは、2024年に比べてどうか」を聞きました。

全産業では、「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]と答えた企業(18.1%)から、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]と答えた企業(24.7%)を引いた業況判断D.I.は▲6.6とな

●2024年の業況は、2023年に比べてどうだったか(%) ~全産業は2023年(+9.0)より悪化の▲6.6に~



り、2024年実績(+5.5)に比べ12.1ポイント悪化しました。

従業員規模で見ると、30人未満の▲4.6に対して、30人以上は▲12.3となり、30人未満が7.7ポイント上回りました。

◇4業種(2024年比)

**製造業** 業況判断D.I.は、2024年実績(+17.8)に比べ17.8ポイント悪化の±0となりました。

**建設業** 業況判断D.I.は、2024年実績(▲12.2)に比べ8.1ポイント悪化の▲20.3となりました。

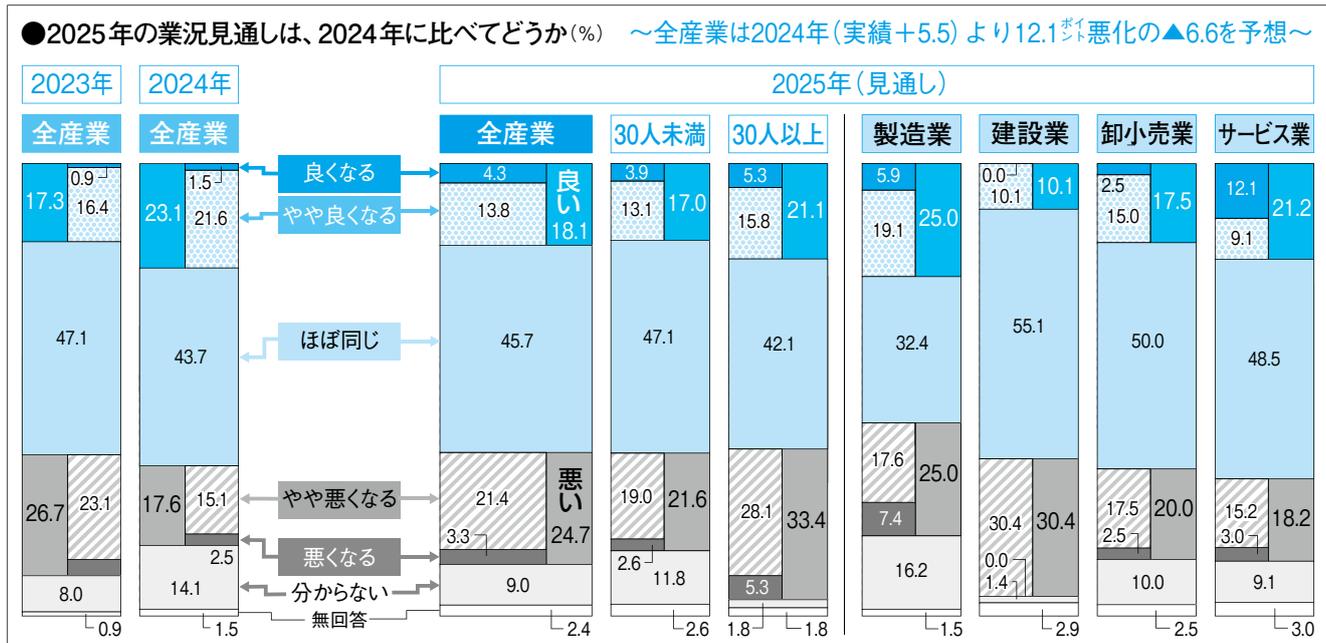
**卸小売業** 業況判断D.I.は、2024年実績(+7.0)に比べ9.5ポイント悪化の▲2.5となりました。

**サービス業** 業況判断D.I.は、2023年実績(+10.8)に比べ7.8ポイント悪化の+3.0となりました。

[調査要領]

実施期日：2024年12月上旬～中旬

調査企業：回収210社(製造業68社、建設業69社、卸小売業40社、サービス業33社)  
うち従業員30人未満153社(72.9%)



「2025年の展望と業界見通し」に関する企業からのコメント

**製造業**

- ◇ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ガザ紛争に加え、アメリカ大統領トランプ氏の就任等、不安材料が多く業界の見通しが全くつかめない。(輸送機械部品)
- ◇「明けない夜はない」と信じ設備投資を実施した。不安はあるが、先を信じ今できることをしっかりやっておきたいと思う。(精密板金加工)
- ◇後継者不在の状況を早期に解決したい。収益改善のため、生産性の向上に取り組みたい。
- ◇円安が続く限り、原料・資材等は全て値上げ傾向。日本経済の好転はみえにくいので、会社は省力化への投資をしつつ新たな収益を出せる販路を開拓したい。
- ◇大手量販店の仕事をいただける予定で、今後、生産が間に合うかとの心配もある。まだまだ伸びる余地があるので、大胆かつ繊細に改めていきたい。(以上、食料品)
- ◇販売方法など見直せるところを見直し、できるだ

- け効率を上げておきたい。動きがあったとき、すぐに対応できるように。(圧縮機)
- ◇今年、人材確保が本格化する年になる。すでに退職予定の従業員もおり、人材の確保育成が大事な年になると思う。(精密板金部品)
- ◇当社の業界は全体的に縮小していくとみている。したがって、販路拡大と付加価値を一層上げていく努力が欠かせない。(金属製品)

**建設業**

- ◇職人不足の中、より収益性の高い工事を中心に受注を目指す。住宅の新築工事は建材の価格高騰による請負額の高価格化や住宅ローン金利の上昇により、減少していきだろう。(一般建築)
- ◇受注については、計画値をクリアする見込み。ただし、資材・外注費等の高騰が続き、利益幅は厳しい状況が続いている。
- ◇公共事業が減少してきており、今までと同じ形での売上高は望めない。新規事業、新たな収益源を模索検討しているが、現状、形にはなっていない。

- ◇受注に応じて売上・利益も変動するので、来期の予想も推測し難いが同率の売上利益を目指したい。
- ◇建築リフォームの引き合いは毎年増えている。しかし、競合も増え失注もある。付加価値・サービスの充実が必要と考える。(以上、総合建設)

### 卸小売業

- ◇地元顧客様の中での存在価値を高め、長野県を代表する菓子企業として飛躍をする。業界は嗜好品のため、厳しい状況ですが、顧客様が幸せな時間を過ごせるようお手伝いをしていきたい。(洋菓子小売)
- ◇秋にオープンする須坂イオンモールの影響がどの程度になるか分からないが、温暖化が進行する中で、衣料品の販売には大きな影響が出てくると思われる。(衣料品小売)

### サービス業

- ◇今までの稼ぎ方を変えなくてはならない。新しい法の改正により、会社として新しい形態に生まれ変わる必要があり、なんとか順応していければと思う。
- ◇人口減少にともない国内輸送需要は徐々に減少していくものと思われるが、それを上回るスピードで供給力が落ちていく。2024年問題の影響がさらに顕在化してくるものと考えられる。(以上、運送業)
- ◇従来型媒体による広告出稿は長期的に減少する見通し。SNS等デジタルソリューション活用による広告宣伝、プロモーションが増加すると見込まれ、今後、同部門による提案力強化を早急に進めていく。(広告代理)
- ◇団体客を受入れる宿泊施設が年々少なくなっているため、今後、さらに当館の強みを活かせると思う。(温泉旅館)

2024年の暮らし向き ▲16.8 [良くなった]8.8% [悪くなった]25.6%

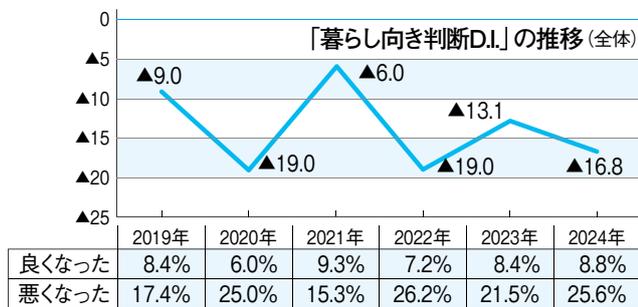
2025年の暮らし向き(予想) ▲27.6 [良くなる]7.3% [悪くなる]34.9%

2025年の暮らし向き  
生活者アンケート  
2024年12月調査

## 2024年の暮らし向き 2023年に比べ悪化

「2024年の暮らし向きは、2023年と比べてどうだったか」を聞きました。

「良くなった」と「やや良くなった」を合わせた[良くなった]は8.8% (2023年調査:8.4%)、「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた[悪くなった]は25.6% (同調査:21.5%)で、暮らし向き判断D.I.は▲16.8となり、2023年(▲13.1)に比べ3.7ポイント悪化しました。



男女別では、[良くなった]は男性7.6%、女性10.5%、[悪くなった]は男性27.3%、女性23.5%となり、暮らし向き判断D.I.は男性▲19.7%、女性▲13.0となりました。年代別では、10~20代が+7.0、30~40代が▲9.0、50代以上が▲30.6となり、年代により顕著な違いがみられました。

## 2025年の暮らし向き(予想) 2024年(実績)に比べ11.8ポイント悪化

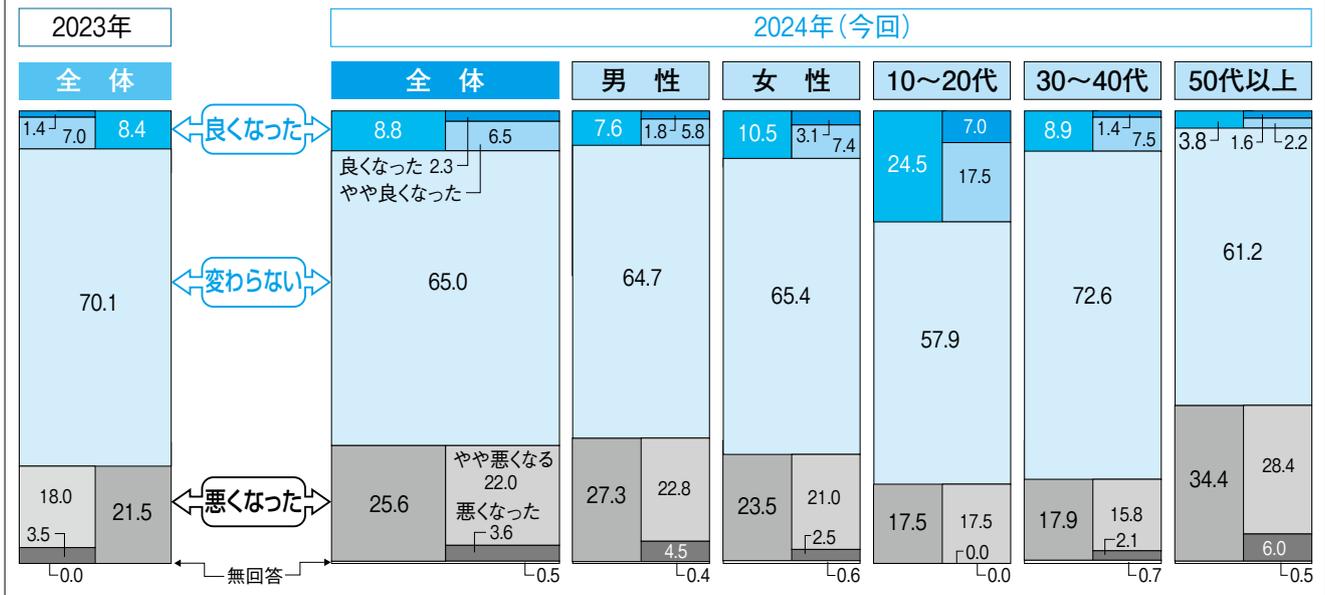
「2025年の暮らし向きはどうか」を聞きました。「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]は7.3% (2024年実績7.4%)、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]は34.9% (同23.2%)で、暮らし向き判断D.I.は▲27.6となり、2024年実績(▲15.8)に比べ11.8ポイント悪化(予想)となりました。

男女別では、[良くなる]は男性7.2%、女性7.4%、[悪くなる]は男性36.6%、女性32.7%となり、暮らし向き判断D.I.は男性▲29.4、女性▲25.3となり、4.1ポイントの差がありました。年代別では、10~20代が▲1.8、30~40代が▲21.2、50代以上が▲41.0となり、前問同様、顕著な差がみられました。

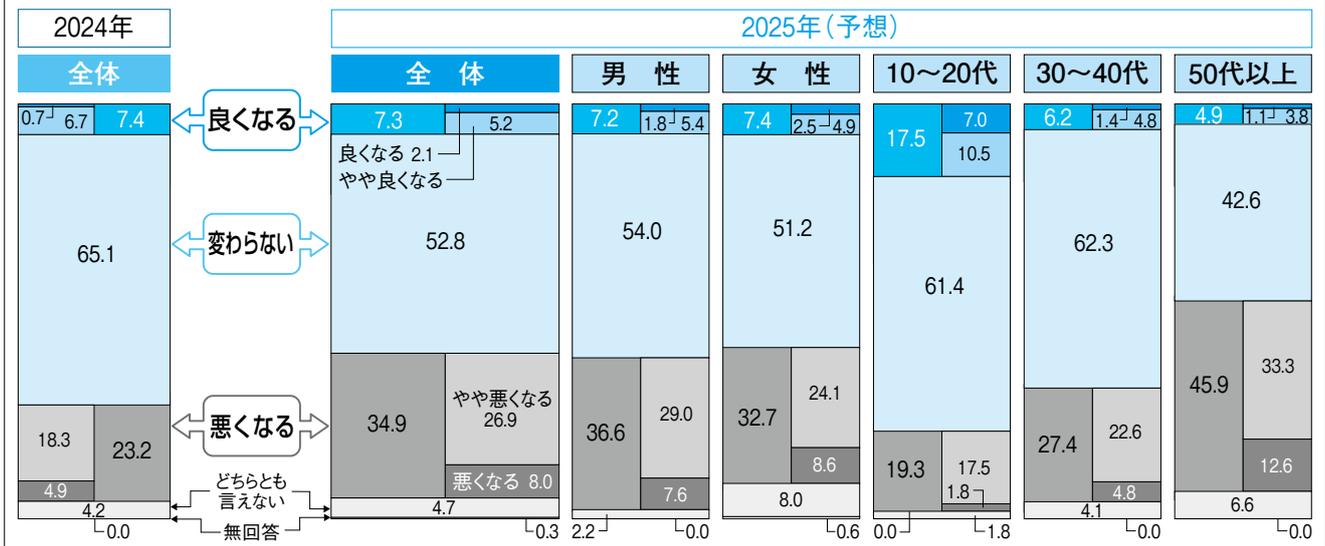
### [調査要領]

実施期日：2024年12月上旬～中旬  
実施場所：長野信用金庫本支店窓口  
対象者：来店客386人(男性224人・女性162人)  
調査方法：アンケート用紙に記述(無記名)

●2023年と比べて、2024年の暮らし向きはどうだったか(%)



●2025年の暮らし向きは、2024年に比べてどうなるか(%)



「暮らし向き」に関する生活者からのコメント

- ◇年金は私達の代のときに存在するのかなど、老後のことを考えるととても不安。(20代女性)
- ◇先々のことを考えると不安等に押しつぶされそうになるが、自分がやりたいことをできるように資金面を考えながら過ごせればと思う。(30代男性)
- ◇子供にお金がかかるときなので、子供が大学に行く際は家計が苦しい。学資保険に入っているが、月々の支払いも3人分はかなり負担になっている。(40代女性)
- ◇物価高なのに給料は上がらず、生活に不安しか感じない。(50代女性)
- ◇一日一瞬を「一生懸命」生きるだけ。
- ◇将来、自分が高齢者になり独り身になったときに、

- 終活や住まいなどの問題をうまく乗り越え、管理できるかが不安。今後、増えるであろう「独り身」に対して、国、市町村が「子育て問題」と同じレベルで真摯に考えてもらい、公共・民間で協力して相談できる窓口を増やして欲しい。(以上、50代男性)
- ◇買い物をしていても、物の値段が高くなったことを実感している。節約できる所は節約して少しでも老後の蓄えにと思う日々。(60代女性)
- ◇夫婦円満に暮らしている。
- ◇せっかく新車を買ったのに1月にかけて政府の補助金が引き下げられ、ガソリン価格がさらに高騰するとのこと。政府は無駄遣いせず、国民に寄り添った支援をして欲しい。(以上、60代男性)

# 北信濃 明治時代の風景

## (34) 豊野

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



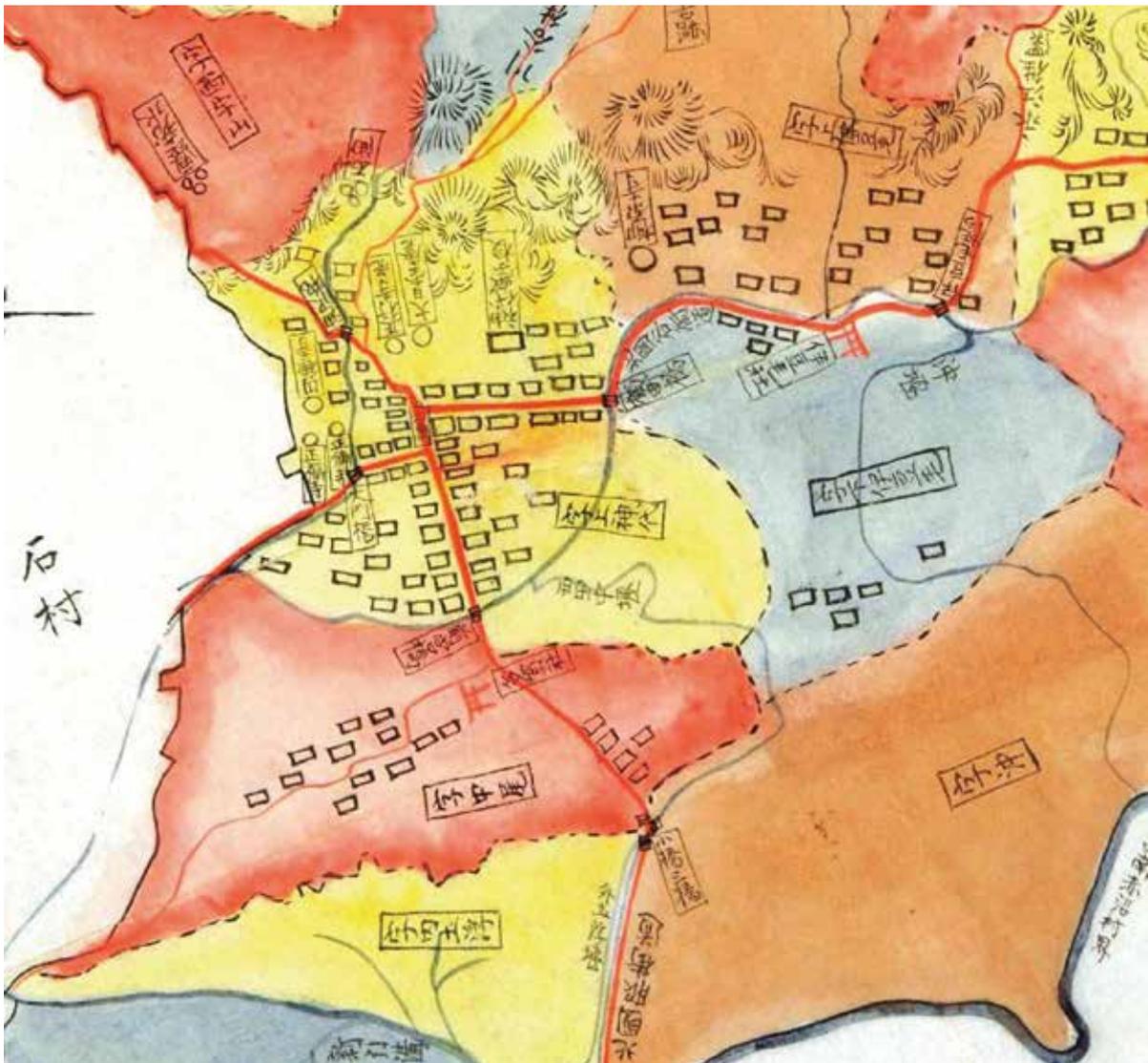
この図は、明治10年(1877)ころに作られた「長野県信濃国水内郡豊野村」の図の主要部分です。豊野村は、明治9年(1876)5月に神代村と中尾村が合併して発足しました。また水内郡は、明治12年(1879)1月に上水内郡と下水内郡に分割されました。したがってこの図は、その間に作られたこととなります。

### 「豊野」という村名

明治8年(1875)から明治9年(1876)にかけて、合併によって各地に新しい村が誕生しました。その際北信濃では、新村名に「豊」の文字を入れるのが流行しました。豊野村もその1つです。新しい

村が豊かな村であってほしいとの願いが込められているのでしょう。このほか明治8年(1875)に豊津村(中野市)と豊郷村(野沢温泉村)が、明治9年(1876)には豊岡村(長野市戸隠)、豊栄村(長野市松代町)、豊栄村(栄村)、豊田村(飯山市)といった村々が誕生しています。

こうした村々の中で最も発展したのが、豊野村です。明治21年(1888)に豊野駅が開業し、大正10年(1921)には飯山鉄道(飯山線)の起点となりました。昭和30年(1955)に豊野町となり、平成17年(2005)に長野市に編入されました。



「長野県信濃国水内郡豊野村」の図(長野県立歴史館蔵)

## 北国谷街道

図の右上(北東)から左下(南西)に向かって蛇行している道には、「北国谷街道」と記されています。「元票」(元標)と「横町橋」の間の東西の直線部分が神代宿で、両脇に人家が建ち並んでいるのが分かります。明治11年(1878)に長野県が作った『長野県治一覧概表』によれば、この道は「長野ヨリ越後長岡ニ至ルノ路線」で、長野、新町、神代、浅野、上今井、替佐、飯山、戸狩、桑名



豊野駅前の『破戒』の文学碑

川、西大滝、平滝、森が宿場でした。飯山街道や十日町街道とも呼ばれ、飯山藩主はこの道を通って参勤交代していました。文化11年(1814)には、伊能忠敬の一行が飯山まで歩いて測量しています。

## 北国脇街道

図の左上(北西)から下方(南)に延びている道は、下部に「北国脇街道」と記されています。これは、矢代(屋代)宿で北国街道と分かれ、松代、川田、福島、長沼、神代を経て北国街道の牟礼宿に出る北国脇往還です。大雨で千曲川や犀川が増水して渡れない時に利用されることが多かったため、雨降り街道などとも呼ばれていました。「北国谷街道」は公的な街道ではありませんが、「北国脇街道」は北国街道を補完する公式の街道だったのです。

この街道の歴史は古く、城のある松代と長沼を経由する道として戦国時代から重視されていました。本能寺の変の後、北信濃を支配した上杉景勝は、天正11年(1583)に牟礼(飯綱町)に制札を掲げ、信濃と越後を往来する人民は牟礼から香白坂かしろを通過して長沼に出るように命じています。

## 神代宿

「北国谷街道」と「北国脇街道」が、卍のように交差している場所が神代宿です。しかし神代宿は本来は「北国谷街道」(飯山街道)の宿場であって、「北国脇街道」(雨降り街道)の宿場ではありませんでした。「北国脇街道」の長沼宿と牟礼宿は約3里(約12km)も離れていますが、公式にはその間に宿場はなかったのです。雨降り街道の長沼宿は、天候によって突発的に通行が増える上に、大洪水も

あって、人馬の継ぎ立てに動員されるのが負担になっていました。そこで長沼宿が幕府に嘆願した結果、元文4年(1739)に神代宿は正式に「北国脇街道」の宿場となりました。しかし「北国谷街道」の神代宿をそのまま利用したため、「北国脇街道」から見ると宿場が街道沿いにない、まるで娼捨駅のスイッチバックのような不思議な構造の宿場となりました。

## 石油鉱

神代宿の西端の「元票」(元標)から「北国脇街道」を北に進むと、すぐに「油沢橋ゆざわ」があり、その北に「●石油」と書かれています。ここは「油沢」という地名が示すように元々油気があったので、明治4年(1871)から油田の開発が行われました。その後も昭和まで断続的に石油の採掘が試みられましたが、成功しませんでした。

## 豊野駅の開業

豊野駅は、長野駅と同時の明治21年(1888)5月1日に開業しました。図の「字中尾」の南部に鉄道が敷設されました。豊野駅は飯山・中野方面の玄関口として栄えました。小諸義塾の教師となった島崎藤村は、明治34年(1901)から何度も豊野駅で下車して、川船で千曲川を下って飯山を訪れました。その取材をもとに小説『破戒』を書きました。豊野駅前には、豊野駅を舞台にした『破戒』の一節を記した文学碑があります。

2月号は「小布施」の予定です。

◆北信地区の景気

景気判断D.I. ▲32.6 「良くなった」6.2% 「悪くなった」38.8%

「北信地区の景気は良いと感じているか」を聞きました。

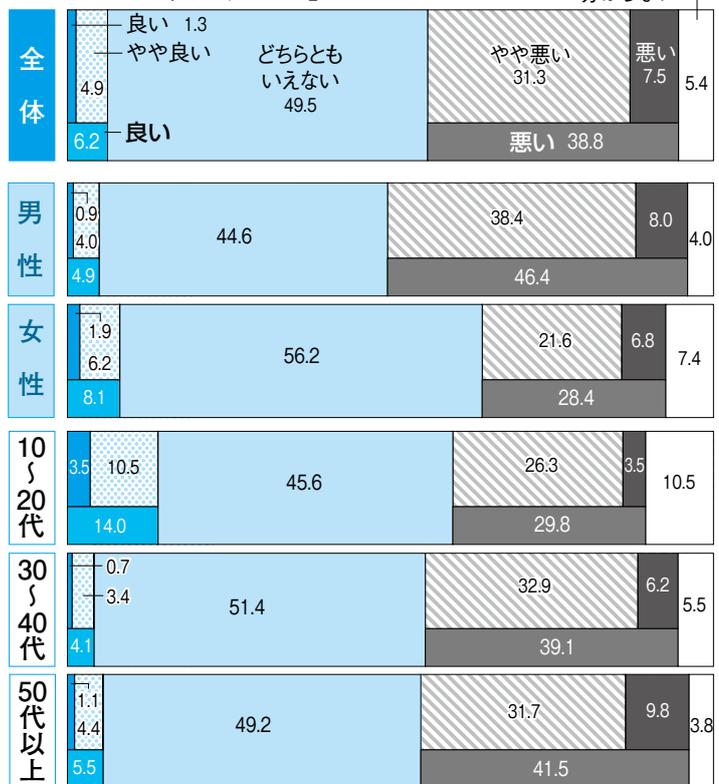
「良い」(1.3%)と「やや良い」(4.9%)を合わせた「良い」(6.2%)から「やや悪い」(31.3%)と「悪い」(7.5%)を合わせた「悪い」(38.8%)を引くと、景気判断D.I.は▲32.6となりました。

男女別の景気判断D.I.を見ると、男性▲41.5、女性が▲20.3で、女性が21.2ポイント高くなりました。

年代別の景気判断D.I.を見ると、10～20代が▲15.8、30～40代が▲35.0、50代以上が▲36.0となり、年代が上がるほど景気判断D.I.は低いという結果になりました。

〈当金庫・2024年12月調査〉

●北信地区の「景気は良い」と感じるか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [2月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
2月 4日	火 長池支店 (大豆島支店)		2月 18日	火 須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店
6日	木 若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	19日	水 中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
7日	金 本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	21日	金 大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
12日	水 篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	25日	火 本店営業部	古里支店 (吉田支店)
13日	木 石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	26日	水 本 部	
14日	金 稻荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	28日	金 本 部	

